

はじめに

香川県勤労者山岳連盟(県連盟)は、このたび第 52 回の定期総会を開催することとなりました。「趣意書」の精神と全国連盟総会で決定した活動内容に基づき、各活動を進めて登山の安全対策・登山者教育活動、遭難事故対策活動、自然保護活動等に取り組んでいます。

会員数の推移を見ると 1993 年には 457 名まで達しましたが、大規模クラブの会員減少等により 1998 年からは右肩下がりに減少が止まらず、2012 年には「さかいで山の会」の加盟で 325 名まで回復したものの下がり続け、現在は 250 名程度まで落ち込んでいます。各会が 1 名でも増やす目標を設定し、底上げしようと会員拡大に取り組んでいるものの会員数は伸び悩んでいるのが現状です。

まずは、県連盟会員 300 名の回復です。各会が会員拡大目標を持ち、県連盟と一丸になって 3 年計画で取り組み、2018 年度が 2 年目となっています。各会が前向きに取り組み、県連盟でも登山学校受講者の勧誘、ホームページ(HP)やブログ、パンフレット配布一般の登山者に県連盟や各会の存在をアピールして、会員拡大を推し進めています。新入会員はある程度見込まれ、足掛かりは出来たものの同数の退会する会員があり、一進一退で衰退は無くなったものの目標を捕捉するまでには至っていません。

このことは、会員拡大ともに各会が会員のニーズに応えられる魅力ある会作りと運営をする必要であると思いで「県連だより」を発行し、毎月各会の活動内容を掲載するなど、啓発活動にも取り組んでいます。

2019 年度は、会員拡大 3 年計画の最終年度になります。様々な会員拡大に向けた方策を実施し、各会と県連盟が一丸となって、300 名の目標を達成したいと思います。各会の皆様のご協力をお願いします。

次に、讃岐山脈ロングトレイルの取り組みです。2017 年度から「讃岐山脈ロングトレイル」を設営し、県連盟が主体 となってコースガイドをまとめ、歩いてもらう取り組みを進めています。現在、各会にコースを歩いて状況を確認してもらっており、県連盟が主体 となってコースガイドをまとめるための実行委員会を立ち上げています。

今後は、コースガイドをまとめて、県連 HP やパンフレット等によりその都度紹介し、県連盟や各会の取り組み・登山活動状況を積極的にマスコミ取材や自治体にコース整備等を働きかけて、協力要請することで、讃岐山脈ロングトレイルの認知度を高めていきたいと考えています。

これらの活動を通じて、外部の登山者・ハイカーに県連盟や各会を知ってもらい、入会案内することにより会員拡大に繋がる一助となればと考え、各会の更なる協力を呼びかけている次第です。

香川県勤労者山岳連盟会長 阿部 哲也